



今月は「パレスチナ」を覚えてお祈りください

パレスチナは地中海の東部のパレスチナにある主権国家である。国際連合(UN)には未加盟であるが、2016年8月時点で136の国連加盟国が国家として承認している。領土はヨルダン川西岸地区およびガザ地区から成り、東エルサレムを首都として定めている。ただし「国土」の一部であるヨルダン川西岸地区の6割に当たる地域と東エルサレムはイスラエルの統治下にあり、首都機能はラマッラーが担っている。

パレスチナの経済・政治・宗教について

パレスチナへのアクセスがイスラエルによってコントロールされているために、工業が不安定で、外国からの投資も以前に比べて95%なくなってしまうている。これに加えて、旅行制限や水源地へ行くことが制限されている。多くの人々は何かの家業によって生計を立てている。イスラエルにおけるパレスチナ人の就業者数にも制限が設けられてからは、生活水準が低くなり、失業率は30%にまで増加してしまった。

1948年に領土をほぼすべて失ったパレスチナは、1967年にもイスラエル軍によって弾圧を受けた。イスラエルとパレスチナの間には和平交渉が長年進められてきているものの、依然として決定的で平和的な解決には至っていない。パレスチナが支配できる町や郊外の村も増えてはいるものの、イスラエルの力と存在は大きい。パレスチナ領土のガザ地区はハマスによって支配されている。

イスラエル人による占有とイスラム教徒による迫害が、少数であるクリスチャンたちの数をさらに減少させている。

パレスチナのその他の情報

面積:6,243 km² (日本の約2%) 人口:5,589,623(日本の約4.5%)



パレスチナを国家承認している国

宗教:	
イスラム教	87.69%
ユダヤ教	8.50%
その他	2.20%
クリスチャン	1.61%

「あなたの国の中の暴虐、あなたの領土のうちの破壊と破滅は、もう聞かれない。あなたは、あなたの城壁を救いと呼び、あなたの門を賛美と呼ぼう。」 イザヤ 60:18

祈禱課題

2023年10月7日の恐ろしいハマスの襲撃は、この地域での殺人的な暴力をエスカレートさせただけでなく、イスラエルとパレスチナの状況について、特にクリスチャンの間で深い分裂を引き起こした。エルサレムの平和だけでなく、両側が平和の君に出会うように。各国の交渉は一時的な停戦をもたらすが、真の和解は神様の救いのご計画の成就とともに訪れるだろう。

領土問題の解決のために

パレスチナの領土には数百のユダヤ人入植地が存在し、イスラエルには200万人以上のアラブ・イスラエル人が住んでいる。お互いがそれぞれの領土について強く主張し、過去から続いている領土の譲り合いの妥協策に不満を持っている。イスラエル人とパレスチナ人の双方はエルサレムを首都として主張している。さらには双方ともに神が自分たちの味方であると信じています。争いがやみ、神様がくださる愛によって共生できるよう、祈りが必要である。

生活環境の改善のために

ガザにいる大多数の人々は避難生活を強いられている。紛争によって社会の悲しみは倍増し、わずかに存在していたインフラと経済活動でさえも爆撃によって破壊されている。原因や責任の所在について議論したところで、数千人もの一般市民、特に女性や子どもが殺されているという事実は変わることがない。神は全ての国と民族を祝福し、慈しみを示すことを望んでおられる。ガザの人々がそれを知ることができるよう祈りが必要である。

パレスチナとイスラエルの政治的なリーダーシップのために

イスラエルを非難しパレスチナ人を擁護するリーダーシップではなく、パレスチナ人の救済に焦点を当てた政治が必要だ。しかし悲しくもハマスはパレスチナ人を助けるのではなく、イスラエルに害を与えることに専念している。ハマスの代わる勢力としてはファタハやPLOがあげられるが、いずれもが政治的な腐敗によってパレスチナ人からは不人気であるようだ。神様がガザとヨルダン川西岸地区の復興と救済のために主権をもって平和的なリーダーシップを確立してくださるよう祈りが必要である。